

2. 土木学会のシニア会員数の推移

わが国の少子高齢化に伴い、土木学会の会員についても若手である 20 代～30 代が少なくなり、60 代以上の会員が増えてきている。本章では、土木学会会員数の推移を概観する¹。

内容

- 2.1. 土木学会におけるシニア技術者の割合の変遷
- 2.2. 定年退職後の学会活動に関する考察

¹ 本章の内容は、加藤隆、荒谷太郎：土木学会会員数による成熟したシビルエンジニアの活躍の現状と課題点、土木学会第 74 回年次学術講演会、2019.(投稿中)を編纂したものである。

2.1. 土木学会におけるシニア技術者の割合の変遷

土木学会は、2017年3月現在で、33,240名の正会員がおり、若干の増減はあるものの、2001年より3万人強で一定の会員数となっている。図1に、2017年3月時点の、正会員の年齢階層別の分布を示す。年齢階層別では、45歳から50歳未満が最も多い。経年的な変化としては、図2に示す通り、正会員の全体数は、2001年から横ばいなのに対し、シニア層の会員数は年々増加しており、2001年の1.58倍に達している。一方で、20歳代や30歳代の若年層は2001年から減少しており、30歳未満は81%、30歳以上40歳未満は66%に減少している。この影響で、全体に占めるシニア層の割合は、2001年の13.4%から2017年には22.0%に増加している。定年退職を迎えた学会員が定年退職後も学会員として継続するかは、個人の判断にゆだねられると思われるが、土木技術者の継続雇用の定着等を背景に、シニア技術者の学会員が増加しているのではないかと考察される。一方で、若手・中堅技術者の減少は、土木離れ、土木学会離れの傾向があることも考えられ、いかに若手・中堅技術者の学会活動を活発化させるべきかという検討課題があると考えられる。

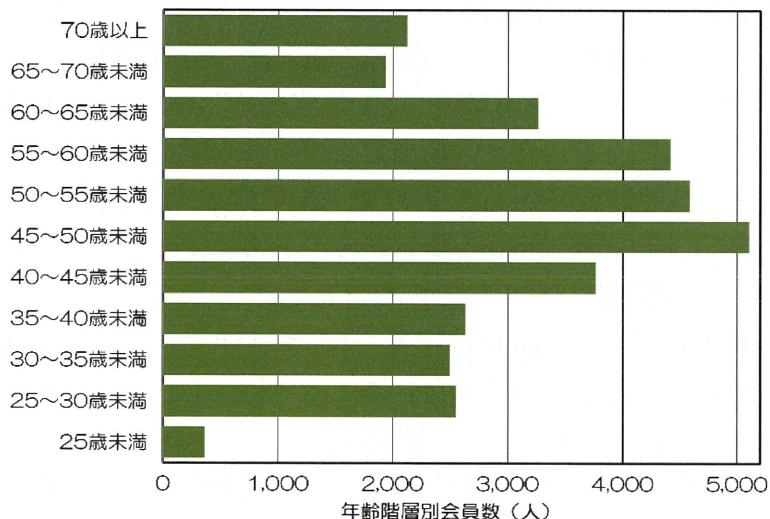


図1 土木学会の年齢階層別正会員数分布（2017年3月現在）

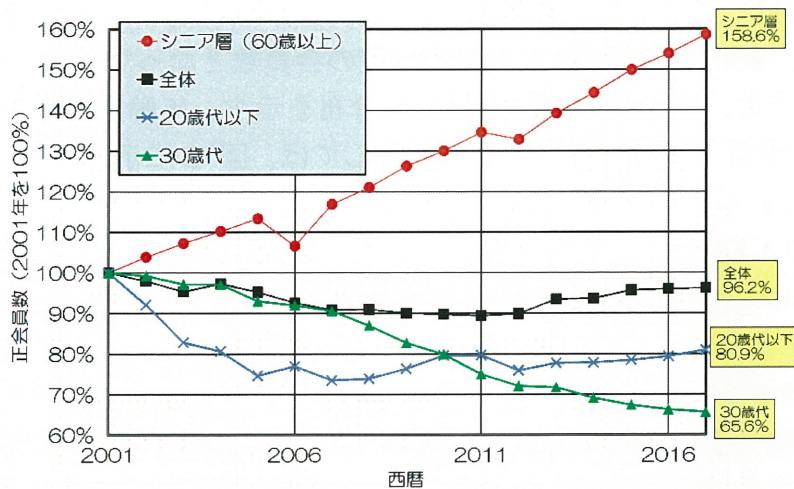


図 2 土木学会正会員数の年別推移（2001 年を 100%）

2.2. 定年退職後の学会活動に関する考察

次に、このデータを用いて、定年退職前の世代（55 歳以上 60 歳未満）の会員数が、定年退職を迎えた 5 年後（60 歳以上 65 歳未満）にどの程度変化したかを把握するため、その年の 60 歳以上 65 歳未満の会員数を、5 年前の 55 歳以上 60 歳未満の会員数で除したものを、「5 年定着率（60 歳）」と定義し、その定着率を求めた。さらに、その年の 65 歳以上 70 歳未満の会員数を、5 年前の 60 歳以上 65 歳未満の会員数で除したものを「5 年定着率（65 歳）」と定義した。なお、実際には 5 年の間に新規入会したり、定年以外の理由で退会したりする会員もいるが、その影響は無視するものとした。

5 年定着率（60 歳、65 歳）の変遷を図 3 に示す、5 年定着率（60 歳）は、2006 年に 62.6% であったが、2017 年には 81.1% に上昇している。5 年定着率（65 歳）については、2006 年が 58.7% であったものが 2017 年には 64.3% に微増している。継続雇用の定着がみられるため、定着率が上昇する傾向にあるものと考えられる。65 歳以上については、さらなる継続雇用の今後の定着が進めば、定着率は上昇していくのではないかと推察される。

2007 年に 55~59 歳である世代を「団塊の世代」と定義する。表 1 に示す通り、「団塊の世代」は 2007 年に 4,614 名の会員がいたが、2012 年には 3,011 名（2007 年比 65.3%）、2017 年に 1,937 名（2007 年比 42.0%）となっている。定年退職を迎ても、引き続き多くのシニア技術者が土木学会員を続けている。団塊 5 年後世代の 5 年定着率も上昇しており、今後魅力あるプログラムをさらに充実させたり、定年退職後の会費減免制度の拡充などを行い、シニア技術者に土木学会に残ってもらう施策等が必要と考えられる。

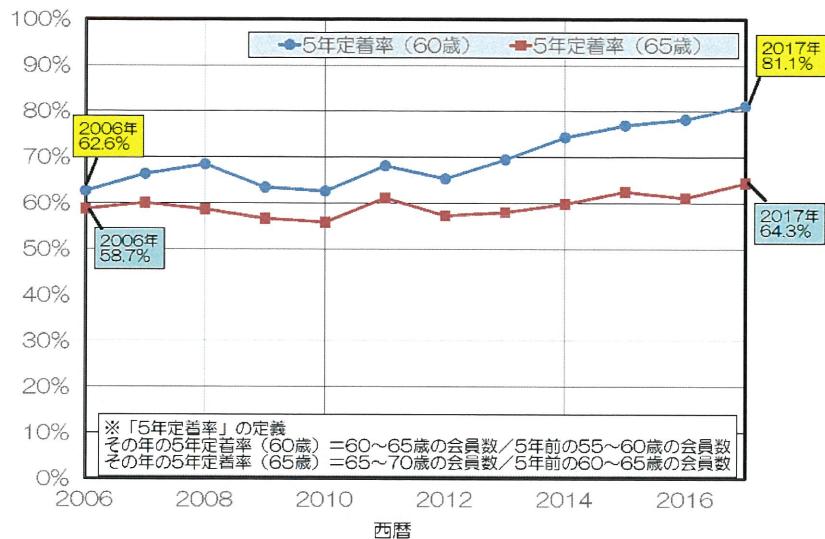


図 3 シニア正会員の5年定着率の年別推移

表 1 団塊世代とその前後世代の正会員数推移

	55~60歳	60~65歳	65~70歳
団塊5年前世代	3,903 (2002年)	2,587 (2007年) [66.3%]	1,480 (2012年) [57.2%]
団塊の世代	4,614 (2007年)	3,011 (2012年) [65.3%]	1,937 (2017年) [64.3%]
団塊5年後世代	4,020 (2012年)	3,262 (2017年) [81.1%]	

※ () 内は、5年定着率(60歳/65歳)を記載。

